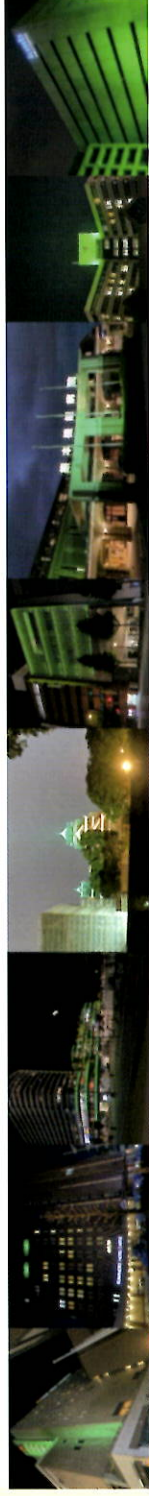


🎗️ グリーンライトアッププロジェクト

令和5年10月、県内26施設でライトアップを行い3年連続全国1位の参加数となりました。



【参加施設】

阿蘇医療センター、九州中央リハビリテーション学院、熊本医療センター、熊本機能病院、熊本県医師会、くまもと森都総合病院、熊本赤十字病院、熊本総合病院、熊本大学病院、熊本ホテルキャッスル、熊本労災病院、KMバイオロジクス、済生会熊本病院、SAKURAMACHI Kumamoto、重光産業（味千ラーメン本店、東ハイパス店、富合店、光の森店）、JR熊本シティ、ハートフェルト、肥後銀行本店、平田機工、古荘本店、ホテル日航熊本、山鹿中央病院（五十音順、敬称略）

📅 年間を通じた取り組み



🎗️ 出前講座の開催報告

財団では毎年県内の中学校等にて、移植医療に携わる医師、臓器移植コーディネーターや腎移植経験者の方を講師として臓器移植についての出前講座を行っています。令和6年6月には天草市立稜南中学校で「命を大切に学習」をテーマに出前講座を行いました。講義後は、

「臓器移植はとても難しいことだとわかった」「現実になった時はわからない」「考えは人それぞれなので提供したい人の気持ちを受け止めたい」「提供したくない、という気持ちも大事な気持ちのひとつだとわかった」などの様々な感想も聞かれ、臓器移植や自分自身や家族の命について考える機会になったのではないかと思います。

また、県民の皆様に移植医療に対する普及啓発を進めるため、中学校以外でも出前講座等を実施しています。出前講座のご依頼については当財団事務局までお問い合わせください。

🎗️ 院内コーディネーターの養成

熊本赤十字病院、岡山大学病院と連携し、県内の院内コーディネーター、医療従事者等を対象に研修会を開催しました。臓器提供に携わる医師等による講義や、グループワークをとおして患者のご家族への情報提供のあり方や臓器提供のプロセスを習得し、患者様やそのご家族に寄り添った質の高い院内コーディネーターの育成に取り組んでいます。



🎗️ アイバンクコーディネーターの養成

県内の角膜提供体制整備を進めるため、くまもと森都総合病院や他県アイバンクにご協力いただき、アイバンクコーディネーター育成事業を実施しました。実際に角膜摘出に関するシミュレーション研修を行い、コーディネーターの資質向上に取り組んでいます。



🎗️ 令和5年度の県内実績

- ・脳死下臓器提供者数5名（うち県内で腎臓移植が行われた件数3件）
- ・角膜提供者数10名、移植実施者数24名（令和4年度以前に提供していたいた保存眼の移植を含む）

🎗️ 支援型自動販売機設置のお願い

賛助会費、寄付以外にも間接的に臓器移植をご支援いただく方法として、支援型自動販売機があります。現在、県内ではむべの里様、熊本総合病院様、リハビリセンター製薬様に設置されており、購入された飲み物代金の一部を毎月当財団に寄付いただいております。この支援型自動販売機の設置事業にご賛同いただける場合は当財団事務局までお問い合わせください。



社会福祉法人むべの里様

臓器提供の意思表示方法

臓器移植について考えたことはありませんか？臓器を提供する。移植を受ける。私たちはどちらの立場にもなる可能性があります。自分の死後のことを自らの意思で決めるために、また家族が本人の意思を尊重しながら判断することができるように、生前からその意思を示しておくことが大切です。意思表示は健康保険証、運転免許証、マイナンバーカードや臓器提供意思表示カード等でできます。その意思表示は何度でも変更が可能です。

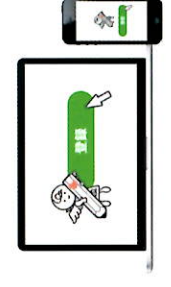
健康保険証

運転免許証

マイナンバーカード

インターネットによる意思登録

臓器提供意思表示カードに記入



【出典：公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク ホームページ <https://www.jotnw.or.jp/> より転載】

健康保険証、運転免許証、マイナンバーカードや臓器提供意思表示カードでの意思表示のほか、公益社団法人日本臓器移植ネットワークのホームページからインターネットによる登録も可能です。

臓器移植に関する権利



臓器移植法は、善意による臓器の提供により、成り立つ社会性の高い医療です。誰もが選択することのできる4つの権利が担保されています。これは、自分の死後に臓器を「提供する権利」、「提供しない権利」、あるいは移植が必要なほど重い臓器の機能不全となったときに、移植を「受ける権利」、「受けない権利」という権利であり、どの考え方も自由に選択でき尊重されるべきものです。

【出典：公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク ホームページ <https://www.jotnw.or.jp/> より転載】